


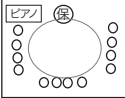
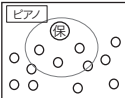
(部分)責任実習 指導計画

実習指導者

印

実習生氏名

印

20xx 年 ○ 月 ○ 日 ( △ )		場 所	遊戯室
主な活動 (題材)	お話を演じる (ひみつの忍者!大運動会)		実習 クラス ( 5 )歳児 ( )組 男児( 6 )名 女児( 6 )名 計( 12 )名
幼児の姿 (前日までの 幼児の姿を 多面的に捉 えて書く)	クラスの友達とイメージを伝え合い、自分たちで役割を分担したりして遊びを進めていけるようになってきている。絵本で見た忍者の術を真似て、体を動かして遊ぶ姿が見られる。手裏剣など、忍者に関わるものを協力して作っている。		保育活動 のねらい ・共通の目標に向かって、仲間と相談したり協力したりして達成することの楽しさを味わう。 ・登場人物になりきることを通して日常とは異なる体の使い方を楽しむ。
時間	環境構成	予想される幼児の活動	保育者の援助・配慮
10:00 (導入)	遊戯室 	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の活動に興味をもち手伝う子がいる。</li> <li>・劇遊びを楽しみにしている子が集まってくる。</li> </ul> ◎保育者のまわりに集まる ○保育者の話を聞く ・絵本のストーリーを振り返り確認しあう。 ・グループでどんな風に演じたいのかを話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・劇遊びの準備をする。 BGM・小道具・衣装など</li> <li>・遊びが始まることを伝え集まるように声をかける。</li> <li>・物語のイメージを広げることができるように絵本「にんじゃつばめ丸」のお話の内容を確認する。</li> <li>・これまで子どもたちが忍者を空想して遊んでいた様子なども交え、忍者の動きのイメージを共有する。</li> </ul>
10:05		忍者のグループに分かれる ①つばめ丸 ②がまのしん ③お父さん・お母さん	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちになりたい登場人物を選ばせてグループ分けをする。自分で決められない子がいるときは適切に助言する。</li> <li>・グループごとに衣装や小道具を身に着ける。</li> <li>・遊戯室の中央の場所を使って活動し、各グループごとに分かれて座る。</li> </ul>
10:10 (主活動) ※サブシー ト参照		○ストーリーに沿って劇遊びをする  1. 家族で忍者の修行 (グループ①③) 手裏剣の術、きつね走りの術など家族で仲良く修行する表現。  2. つばめ丸の特訓 (グループ①) 「地降りがさ」の術ができないつばめ丸が一人特訓するがどうしてもできない。  3. 忍者運動会 (グループ①②) 忍者運動会でつばめ丸とがまのしんが競り合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人ひとりの表現を認め、より人に伝わる動きを一緒に考え、表現を工夫していけるように援助する。</li> <li>・地降りがさの術は跳び箱とマットを使って表現できるが、地降りがさの術にこだわらず子どもたちと表現の内容を検討してもよい。</li> <li>・子どもたちと話し合いたけうまの術、縄跳びの術等子どもたちが実際に達成した術を取り入れるようにしてもよい。</li> <li>・前半後半とグループを入れ替えるときはここで入れ替える。</li> </ul>
10:20		4. 運動会のフィナーレ (グループ①②) つばめ丸はがまのしんと対決でできなかった「地降りがさの術」ができるようになる。勝負には負けるが、お互いを認め合う。 (全員) ダンス「へんしん!にんじゃじゃん」を踊る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・苦手を克服する気持ち、認め合う気持ちなど、なぜそのように登場人物が思ったのかを子どもたちと確認し、動きとして表現できるように援助する。</li> <li>・決まりきった振付けで動くのではなく、自分たちで表現を見つけていく楽しさを感じられるように工夫する。</li> </ul>
10:25 (まとめ)		○活動の振り返りをする 自分の工夫したところや友達の良いところを伝え合う。 次はどんな演技をしたいか話し合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の良いところを認めながら、自分自身も課題をもって次の活動ができるようにする。</li> </ul>
10:30		◎保育者の話を聞く	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの感想を聞き、次回はこの動きをもとに舞台上で演じることを伝え楽しみに思えるようにする。</li> </ul>
自己振り返り・評価等			